

みずほ Customer Desk Report 2018/08/06 号 (As of 2018/08/03)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	111.81 AUD/USD
TKY 9:00AM	111.71	1.1586	129.42	1.3016	0.7360
SYD-NY High	111.89	1.1610	129.51	1.3043	0.7412
SYD-NY Low	111.11	1.1560	128.65	1.2975	0.7348
NY 5:00 PM	111.29	1.1568	128.71	1.3003	0.7397
NY DOW	25,462.58	136.42	日本2年債	-0.1100	▲1.00bp
NASDAQ	7,812.02	9.33	日本10年債	0.1100	▲1.00bp
S&P	2,840.35	13.13	米国2年債	2.6432	▲2.03bp
日経平均	22,525.18	12.65	米国5年債	2.8134	▲4.06bp
TOPIX	1,742.58	▲9.51	米国10年債	2.9497	▲3.53bp
シカゴ日経先物	22,580.00	▲5.00	独10年債	0.4085	▲4.90bp
ロンドンFT	7,659.10	83.17	英10年債	1.3275	▲4.80bp
DAX	12,615.76	69.43	豪10年債	2.7245	▲0.50bp
ハンセン指数	27,676.32	▲38.24	USDJPY 1M Vol	6.38	▲0.07%
上海総合	2,740.44	▲27.58	USDJPY 3M Vol	7.25	▲0.13%
NY金	1,223.20	3.10	USDJPY 6M Vol	7.65	▲0.05%
WTI	68.49	▲0.47	USDJPY 1M 25RR	-0.85	Yen Call Over
CRB指数	193.23	0.58	EURJPY 3M Vol	8.05	0.05%
ドルインデックス	95.14	▲0.02	EURJPY 6M Vol	8.48	0.08%

【昨日の指標等】

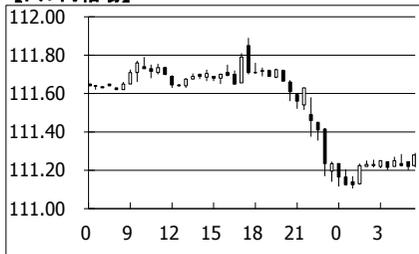
Date	Time	Event	結果	予想
8月3日	10:30	豪 小売売上高(前月比)	6月 0.4%	0.3%
	18:00	欧 小売売上高(前月比)	6月 0.3%	0.4%
	21:30	米 貿易収支	6月 -\$46.3b	-\$46.5b
	21:30	米 非農業部門雇用者数変化	7月 157k	193k
	21:30	米 失業率	7月 3.9%	3.9%
	21:30	米 平均時給(前月比/前年比)	7月 0.3%/2.7%	0.3%/2.7%
	22:45	米 マークイットサービスPMI・確報	7月 56.0	56.2
	22:45	米 マークイットコンソリッドPMI・確報	7月 55.7	-
	23:00	米 ISM非製造業総合景況指数	7月 55.7	58.6

【本日の予定】

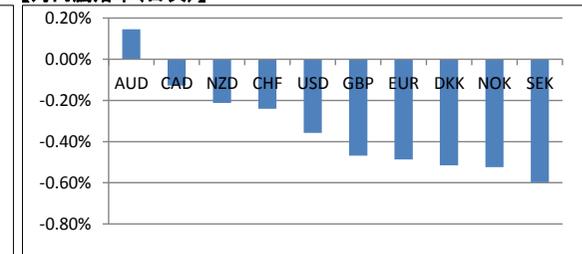
Date	Time	Event	予想	前回
8月6日	15:00	独 製造業受注(前月比)	6月 -0.5%	2.6%
	16:30	独 マークイット建設業PMI	7月 -	53

アジア	朝方のドル円は前日から米中貿易摩擦懸念を背景とした上値の重い推移が続く中で111.62まで軟化。東京時間のドル円は111.71レベルでオープン。この日は実質ゴト一日に当たり、本邦勢による実需フローも散見される中、ドル円は111.79まで上昇。足許で軟調推移が続いている中国株がこの日も前日比マイナス圏での推移となり、人民元相場も一段と弱含むと米中貿易摩擦懸念が意識されてか、ドル円はややレベルを下げる展開。ただし、米7月雇用統計の発表を控えた様子見ムードもあり値幅は限定的となり、総じて小幅レンジ内での推移に留まり、結局111.70レベルで海外へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は111.70レベルでオープン。米7月雇用統計の発表を控え、狭いレンジ内で推移。一時ドル円は111.89まで上昇する場面も見られたもののすぐに水準を戻す展開。その後、中国人民銀行が為替先物取引の準備率を変更することが報じられるとドル円は小幅に下落し、結局111.54レベルでNYに渡った。ユーロは1.1580レベルでオープン。この日発表された7月の独・仏PMIがそれぞれ予想比下振れの内容となるとユーロ売り優勢の展開となり、6月21日以来の安値である1.1562まで低下するも、同水準では買い意欲も強く、結局1.1596レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は111.70近辺を方向感なく推移。その後中国人民銀行が為替先物取引の準備金を20%に引き上げると発表し、ドル安元高の動きが円にも波及したことより111.52まで下落し、111.54レベルでNYオープン。朝方発表された米7月雇用統計は失業率と平均時給は予想通りの結果だったが、非農業部門雇用者数変化が予想を下回り前月から伸びが鈍化したことからドル売り優勢となり、さらにユーロ円の下落が加わったことから111.17まで下落する。その後111.24まで戻すが、続いて中発表された米7月ISM非製造業総合景況指数も予想を下回り、じりじりと値を下げる展開に111.11をつける。週末を控えた。また週明けに大きなイベントがない中、午後には111.20近辺を方向感なく推移し111.29レベルでクロス。一方、イ列ア政権の予算編成をめぐる政局不安やユーロ圏PMIの下方修正を背景に海外市場のユーロは一時1.1562まで下落するが、中国人民銀行のヘドラインによってドル売りが強まり1.1609まで急上昇し、1.1596レベルでNYオープン。米7月雇用統計結果発表直後はドル売りで反応し1.1610まで上昇するが、その後は米中通商問題やイ列ア財政悪化懸念が再認識されたことからユーロ円が下落し、ユーロドルもつれて1.1560まで下落する。米7月ISM非製造業総合景況指数が予想を下回りドル売りが強まったことから1.1604まで戻すが、上値は重く1.1570まで反落し、1.1568レベルでクロス。

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	110.50-111.50	1.1500-1.1600	128.00-129.00

【マーケット・インプレッション】

先週末の海外市場は発表された米雇用統計が失業率と平均賃金こそ市場予想通りだったもののNFPが市場予想を下回る数字となり、加えて、PBOCが為替フォワード取引に対して準備金要件を20%としたドル買い抑制策を打ち出したことでドル円は上値重い展開となり、111円前半で引けた。本日も米中貿易戦争問題における貿易面・通貨面でのヘッドラインには要注意でドル買いには傾きづらいと予想する。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 山下・鶴田